

科目名		国際政治学特殊講義Ⅱ	
担当教員	小笠原高雪	科目区分	選択必修科目
開講区分	後期	単位数	2単位
曜日時限	火曜・1時限	開講年次	1年
到達目標	第二次大戦終結以降の日本の対外関係を、世界政治／アジア政治／日本政治との関連のなかで把握するとともに、現代の政策課題を批判的に検討する力を養う。		
授業概要	教科書の講読を中心とする。あらかじめ決められた履修者による報告、全員参加を前提とする質疑と討論、小笠原による補足と総括、次回の主題についての導入的な説明、のサイクルが基本となる。ときには映像教材も利用して、主題に対する理解を深める。		
授業計画			
回数	内容		
第1回	科目ガイダンス		
第2回	近代日本の外交伝統		
第3回	米国の占領政策と日本		
第4回	米ソ冷戦・多数講和・日米安保		
第5回	1960年の安保改定		
第6回	経済大国日本の外交		
第7回	ベトナム戦争と日本		
第8回	米中接近と日中国交正常化		
第9回	日本外交における東南アジア		
第10回	冷戦終結と湾岸戦争		
第11回	アジア太平洋の多国間協力		
第12回	国連平和維持活動への参加		
第13回	朝鮮半島情勢と安全保障		
第14回	中国の台頭と日本外交		
第15回	全体総括		
準備学習等 (課題・予習・復習・調査等)	教科書の該当部分を通読し、疑問点を整理してこること。その他の指示は授業のなかで与える。		
評価方法・基準 ・講評の方法	報告・質疑・討論を中心とする平常点(70%)、学期中に数回課す小レポート(30%)、の合計による。講評は電子メールで伝える。		
テキスト・参考書	教科書として、五百旗頭真(編)『戦後日本外交史』第3版補訂版(有斐閣、2014年)を予定しているが、最終的には履修者と話し合ってから決定する。参考文献は授業のなかで紹介する。		
前年度の授業を ふまえた今年度 の授業方針	肯定的な評価が多かったので前年度の踏襲を基本とするが、なかでも双方向的な授業方法について一層の充実を考えている。		
学生への メッセージ			
授業に参考と なるサイト			
関連する画像			
その他・備考			